

LEVORG ELECTRICO [VMG/VM4]

取付説明書

DAMM

Styling Effect

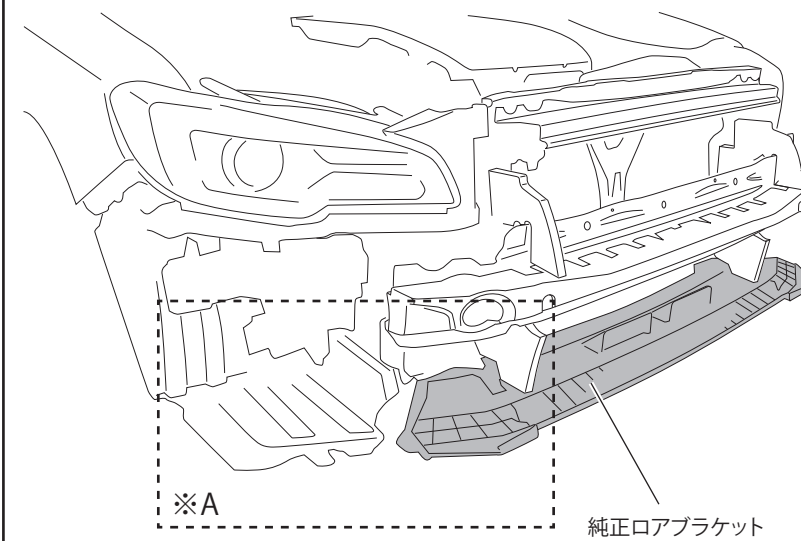
ACTIVE FRONT RIP SPOILER

可動フロントリップスポイラー

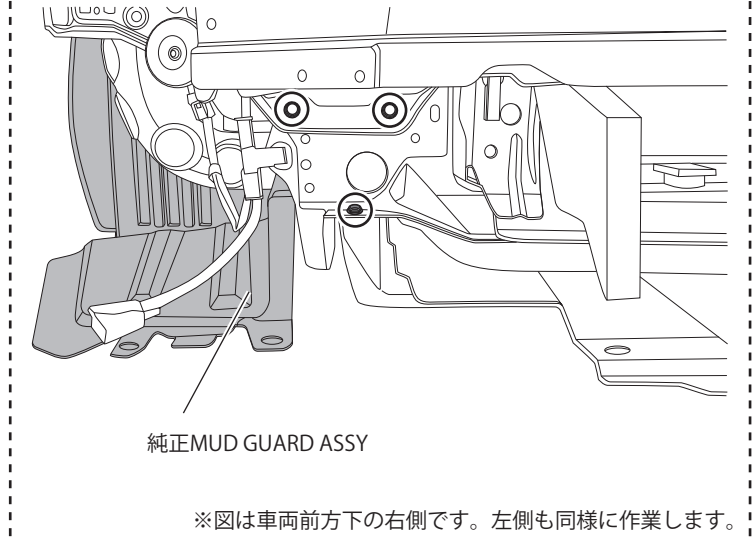
作業手順 ■ 取り付け前に必ず別紙<注意事項>をお読み下さい。

- ① 車両からフロントバンパー及び運転席側のフロントフェンダーを取り外します。
- ② 図①を参考に、純正ロアブラケットを取り外し、下部の純正MUD GUARD ASSYを型紙に従い切り取り、○で示した純正ボルトを一旦外します。
- ③ 図②を参考に、手順②にて純正ボルトを外した位置に[A] メインブラケットを仮止めします。
- ④ 図③を参考に、[B] フロント可動ユニットを手順③にて車両に取り付けた[A] メインブラケットに仮止めします。同時に[C] リップスポイラーブラケットを[B] フロント可動ユニットに仮止めしておきます。
- ⑤ "可動スポイラー制御ユニット"を説明書に従い取り付け、[E] フロント用ハーネスを"制御ユニット"と接続します。図④を参考に[E] フロント用ハーネスを配線し、手順④にて取付けた[A] フロント可動ユニットのコネクターと接続します。
- ⑥ "可動スポイラー制御ユニット"取付説明書に従い、動作確認を行います。正しく作動した場合、手順⑦に進みます。作動不良の場合は、"可動スポイラー制御ユニット"取付説明書に従い各部の確認を行ってください。
- ⑦ 正しく作動し配線に問題が無いことが確認出来たら、[E] フロント用ハーネスを適宜[F] 結束バンドで固定します。
※弛んだハーネスが、エンジンパーツやラジエーターに触れたり、可動部に干渉したりすることのないように固定して下さい。

図①

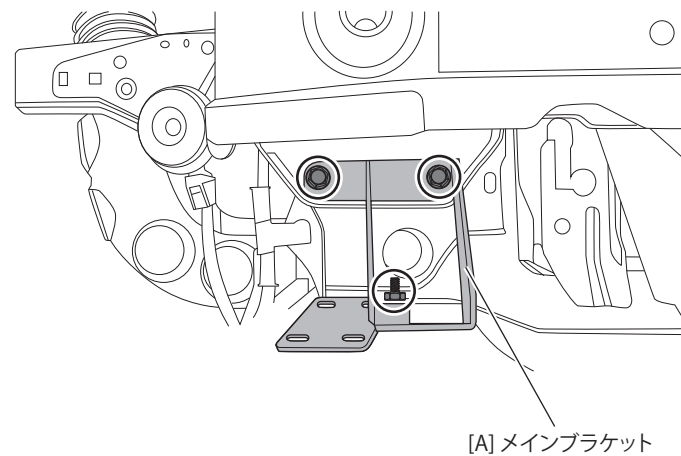


※A部分正面拡大



図②

図①-※A部分正面拡大

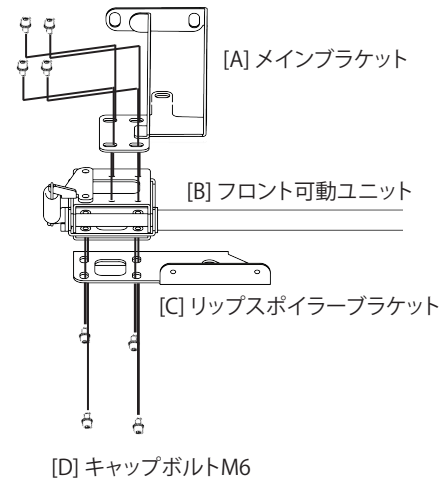


※アンダースポイラーの取付時に位置の微調整が出来るよう、この時点での締め過ぎに注意して下さい。

※図は車両前方下の右側です。左側も同様に作業します。

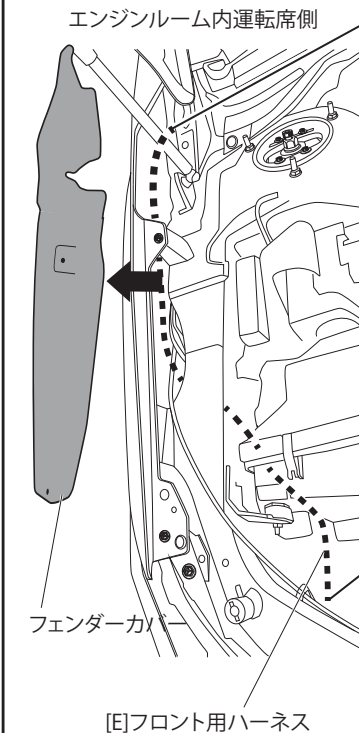
図③

[D] キャップボルトM6

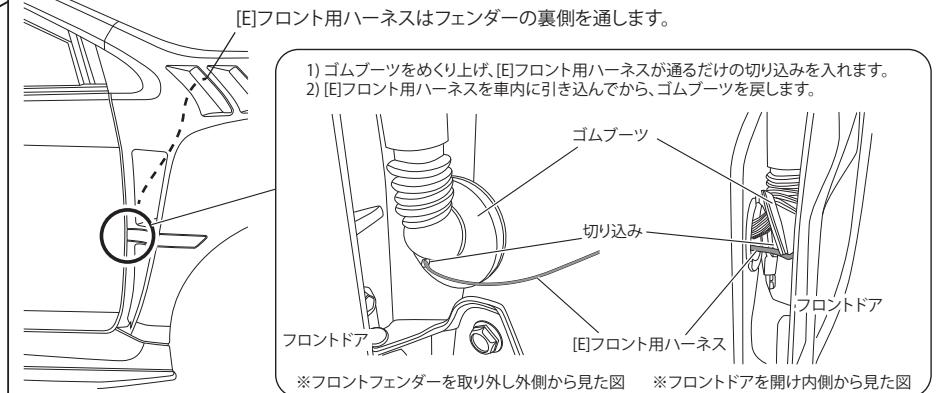


※図は右側です。左側も同様に作業します。

図④

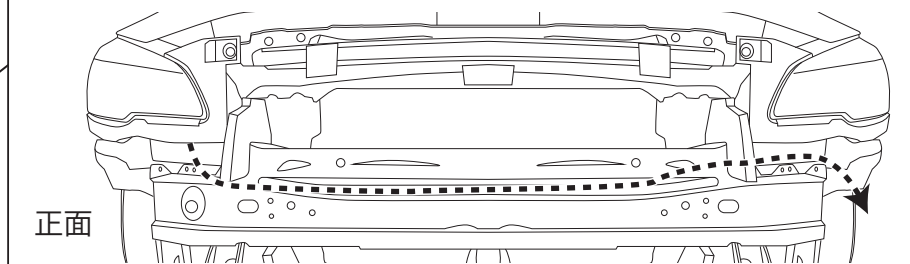


[E] フロント用ハーネスの制御ユニット側は、フロントドア前に落とし、下図のように車内に引き込みます。



※上図はダムド製オーバーフェンダーです。

[E] フロント用ハーネスの[B] フロント可動ユニット側は、ライト裏からフロントビーム裏を通して左側に出す。



⑧ 図⑤を参考に、[G] フロントリップスポイラーを仮止めます。

⑨ 各ボルトを均一に締め付け、トルクを増す毎に“手動モード”の状態ですべてのフロントリップスポイラーを出し入れして各部に干渉がない事、“可動スポイラー制御ユニット”がエラーを示していない事を確認します。同時に図⑥を参考に、全閉時、全開時センサーが作動する様にドグの位置を調整し固定します。
※ドグを正しく感知するとセンサーが、赤く点灯します。

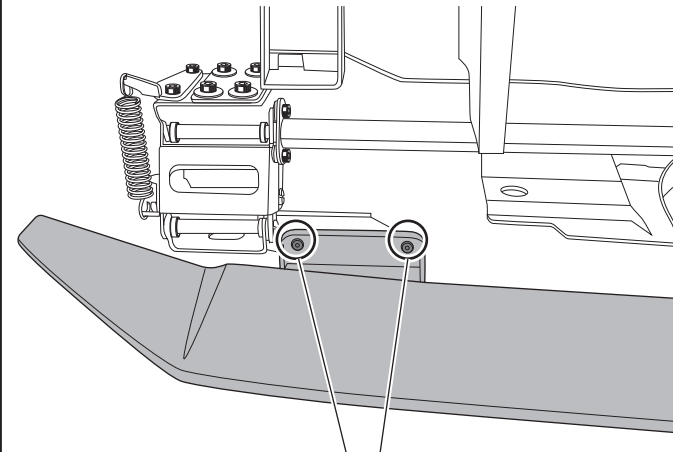
⑩ 図⑦を参考に、モーターとシャフトを固定しているカプラーを緩め、フロントバンパーを仮付けします。[C]リップスポイラーブラケットを固定している[D]キャップボルトと[H]低頭キャップボルトを緩め、フロントリップスポイラーを手で出し入れし、図⑧を参考に、[G] フロントリップスポイラーの高さ、出幅を調整します。

⑪ 図⑨を参考に、クッションテープの貼り付け位置をマスキングテープ等でマーキング後、フロントバンパーを外し、[I]クッションテープを貼り付けます。
※張付け面はパーツクリーナー/シリコンオフ等にて入念に清掃及び脱脂を行って下さい。

⑫ 手順⑨で緩めたカプラーを本締めし、“手動モード”で動作させてエラーが出ないことを確認します。動作が鈍い場合や途中で止まる場合は、図⑩に●すボルトや各部のボルト類を一旦緩め、再度調整しながら本締めしてください。

⑬ フロントバンパーを元の位置に戻し、“手動モード”で動作に異常がない事、各部に干渉がない事を確認します。

図⑤

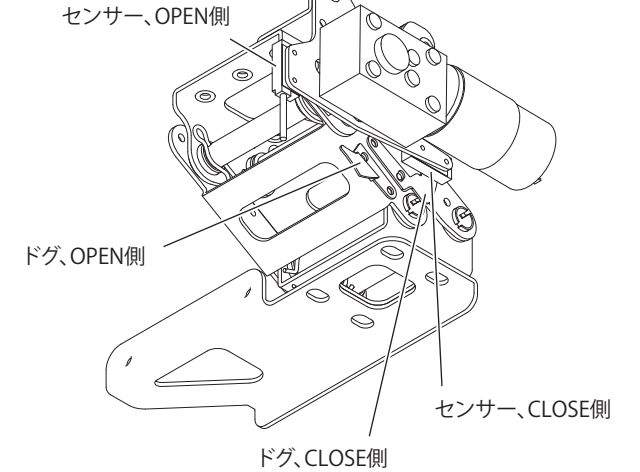


フロントリップスポイラーを [H] 低頭キャップボルトで仮止めます。

※図は右側です。左側も同様に作業します。

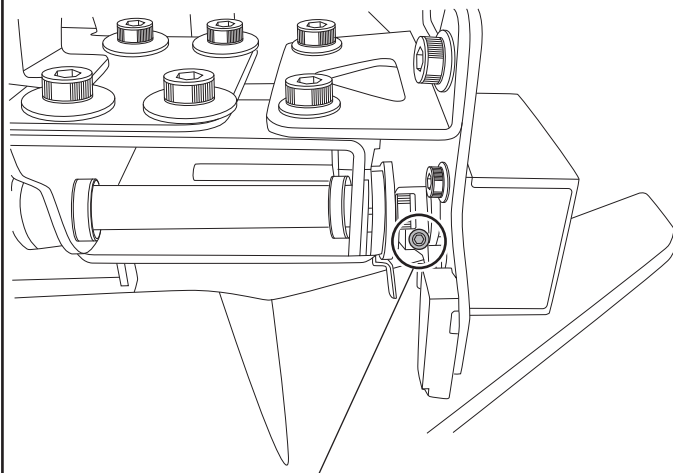
図⑥

[B]可動ユニット左側を斜め下から見上げた図



※[G]フロントリップスポイラーが引っ込んだ状態

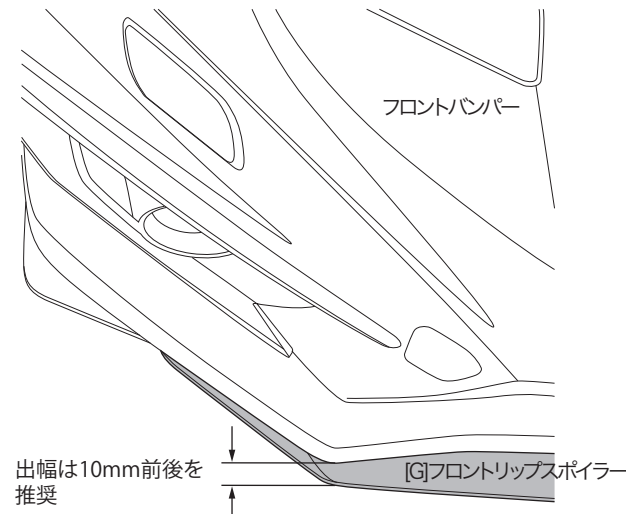
図⑦



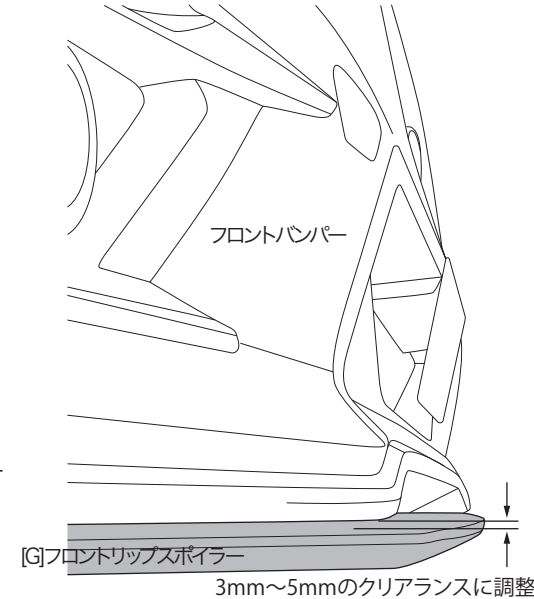
キャップボルトの頭を舐めないよう気を付けて緩め、本締めする際は締め込みすぎに注意して下さい。

図⑧

上から見た図

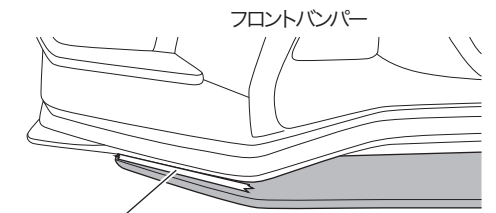


横から見た図



※図は車両前方下の右側です。左側も同様に作業します。

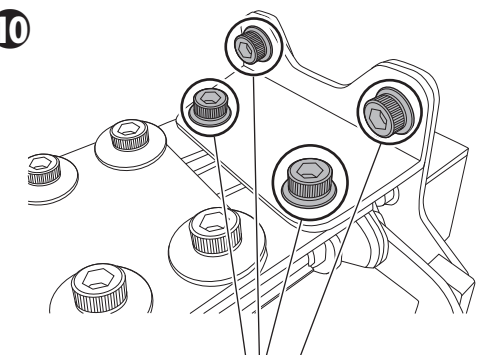
図⑨



フロントバンパー下面のR止まりを基準にして、2~3mm奥に[I]クッションテープが貼れるようマスキングテープで位置出しをします。

※図は車両前方下の右側です。左側も同様に作業します。

図⑩



モーターの軸とシャフトがズレた状態で固定されないように位置を調整し、均等に締めていきます。

構成部品

A	メインブラケット (B) に組み付け済)	2	G	フロントリップスポイラー	1
B	フロント可動ユニット	1	H	低頭キャップボルト	4
C	リップスポイラーブラケット (B) に組み付け済)	2	I	クッションテープ	2
D	キャップボルト M6 (B) に組み付け済)	16	-	-	-
E	フロント用ハーネス	1	-	-	-
F	結束バンド	6	-	-	-

DAMD Inc.

株式会社 ダムド
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
http://www.damd.co.jp

LEVORG ELECTRICO [VMG/VM4]

取付説明書

DAMD
Styling Effect

ACTIVE SPOILER CONTROL UNIT

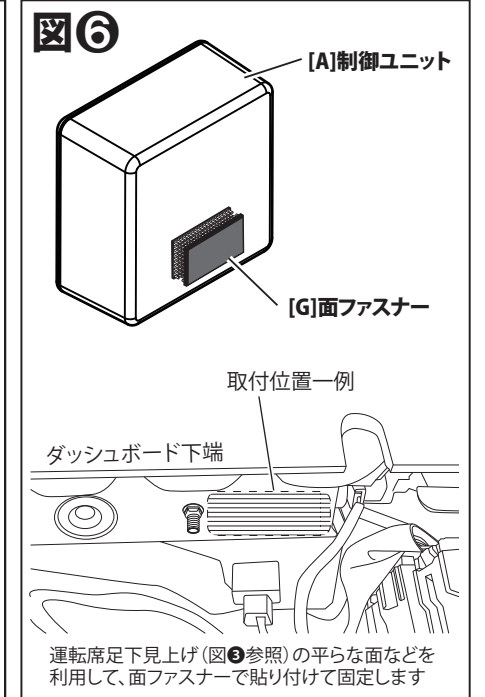
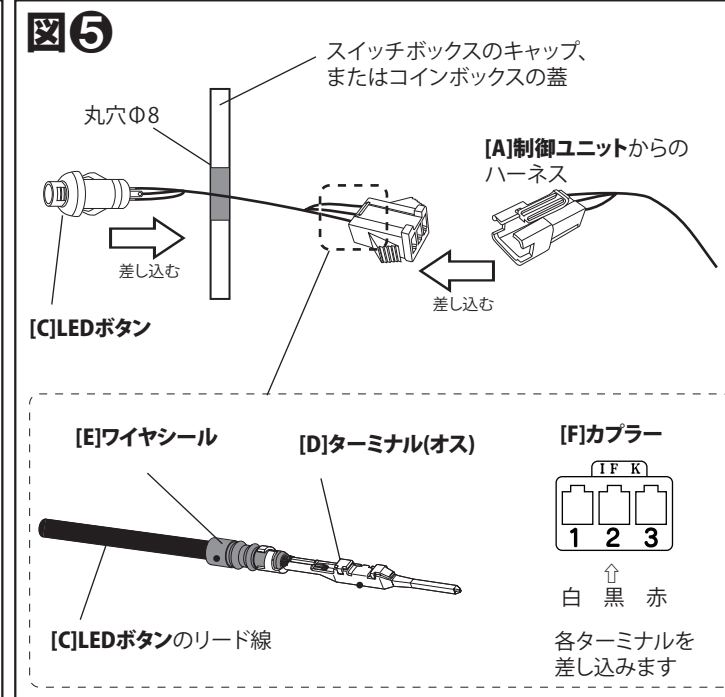
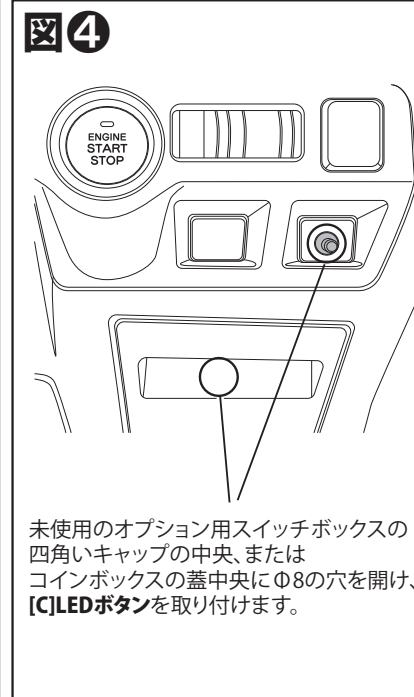
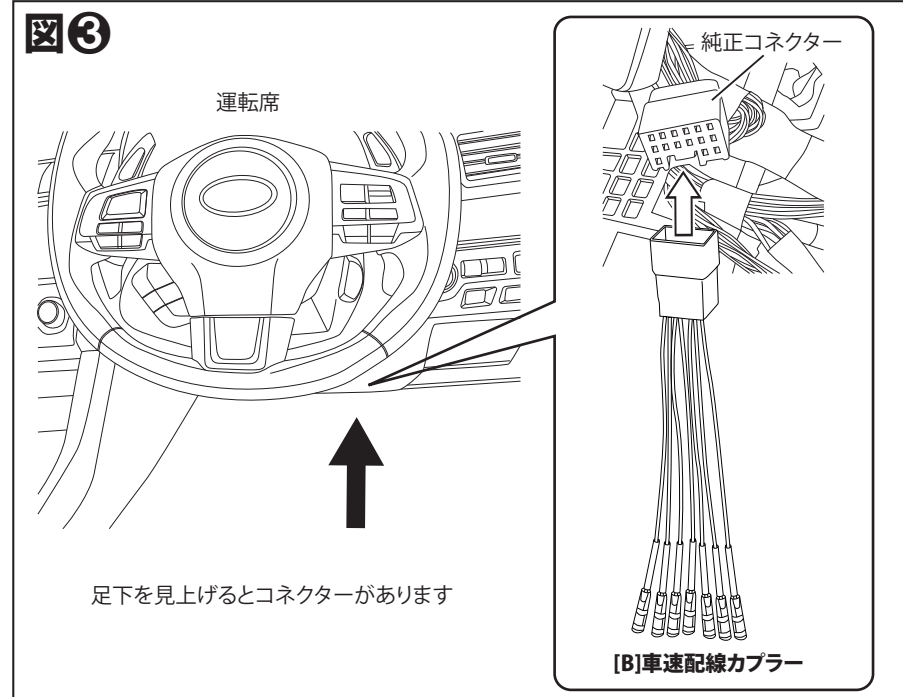
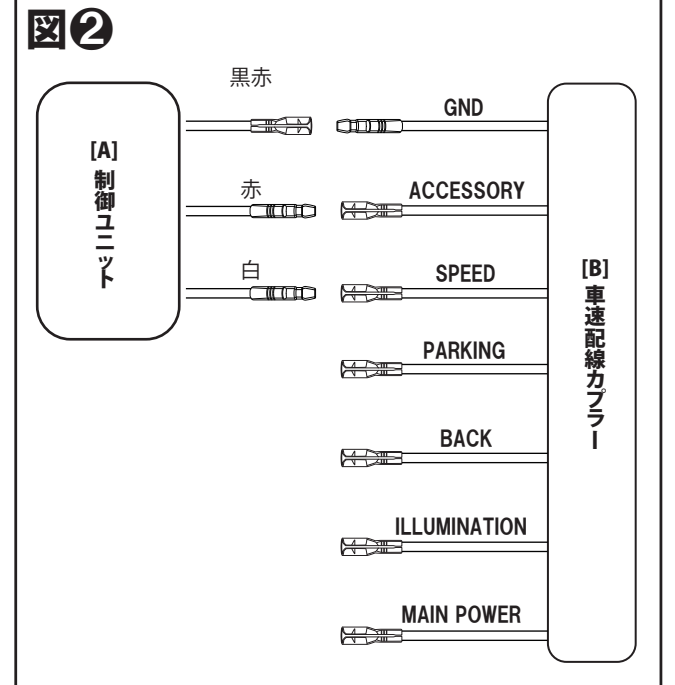
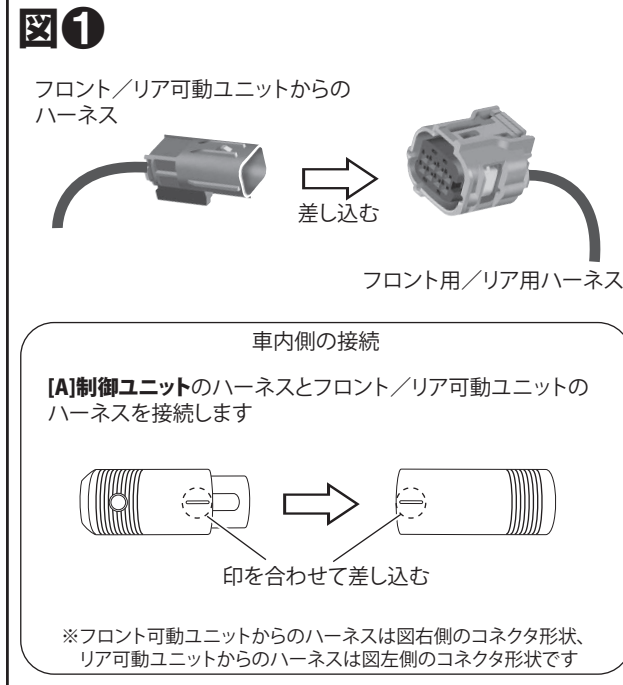
可動スポイラー制御ユニット

作業手順 ■ 取り付け前に必ず別紙<注意事項>をお読み下さい。
※フロント可動ユニットとリア可動ユニット両方を同時に取り付ける場合の説明となっておりますが、片方のみの場合も手順は同様となります。

- ① 図①を参考に、フロント可動ユニットとリア可動ユニットのハーネスを[A]制御ユニットに接続します。
- ② 図②を参考に、[A]制御ユニットの各ギボシを[B]車速配線カブラーに接続します。
- ③ 図③を参考に、運転席側足下のコネクタに[B]車速配線カブラーをはめ込みます。
- ④ 図④、⑤を参考に、[C]LEDボタンを固定し、リード線(白黒赤)それぞれに[D]ターミナル(オス)と[E]ワイヤシールを取り付けて[F]カブラーに差し込み、[A]制御ユニットへ接続します。
- ⑤ 図⑥を参考に、[G]面ファスナーを使って[A]制御ユニットを固定します。
※[G]面ファスナー貼付け面はパーツクリーナー/シリコンオフ等にて入念に清掃及び脱脂を行なって下さい。

LEDボタン、可動ユニットのモーター及びセンサーの動作確認
※車内での操作、確認と車外での確認を同時に行います。二人以上で作業を行って下さい

- ① フロント用ハーネスのみ接続し、エンジンを始動します。※リア用ハーネスから始めても問題ありません。
- ② [C]LEDボタンを短押しすると短いピーブ音(ピッ)が鳴り、モーターがOPEN側へ駆動します。車内では、[C]LEDボタンが点滅します。
- ③ フロントウィングが可動し、ドッグがOPEN側センサーの正面に重なるとセンサーが赤く点灯し、モーターが停止します。車内では、[C]LEDボタンが点滅から点灯へと変わります。
※可動ユニットが作動し切ってもドッグがセンサー正面に届いていない場合、可動ユニットの取付説明書に従ってドッグの位置を調整して下さい。
- ④ 上記通り正常に作動している事を確認したら、[C]LEDボタンを再度短押しします。短いピーブ音(ピッ)がし、モーターはCLOSE側へ駆動、[C]LEDボタンは点滅します。ドッグがOPEN側センサー正面から外れるとセンサーは消灯します。
- ⑤ ドッグがCLOSE側センサーの正面に重なるとセンサーが赤く点灯し、モーターが停止します。車内では、[C]LEDボタンが点滅から消灯へと変わります。
- ⑥ 問題なく作動した場合一旦エンジンを停止し、リア用ハーネスを接続して、同様の手順で動作確認を行います。
- ⑦ 上記通りに[C]LEDボタンやセンサーが点灯、点滅、消灯しない、モーターが駆動しない、長いピーブ音が鳴るなどの場合、何らかの不具合が考えられます。配線の見直し、テスターによる各配線の通電確認などを行って下さい。



構成部品	A	制御ユニット	1	E	ワイヤシール	2
	B	車速配線カブラー	1	F	カブラーハウス	1
	C	LEDボタン	1	G	面ファスナー	1
	D	ターミナル(オス)	2	-	-	-

DAMD Inc.

株式会社 ダムド
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
http://www.damd.co.jp